

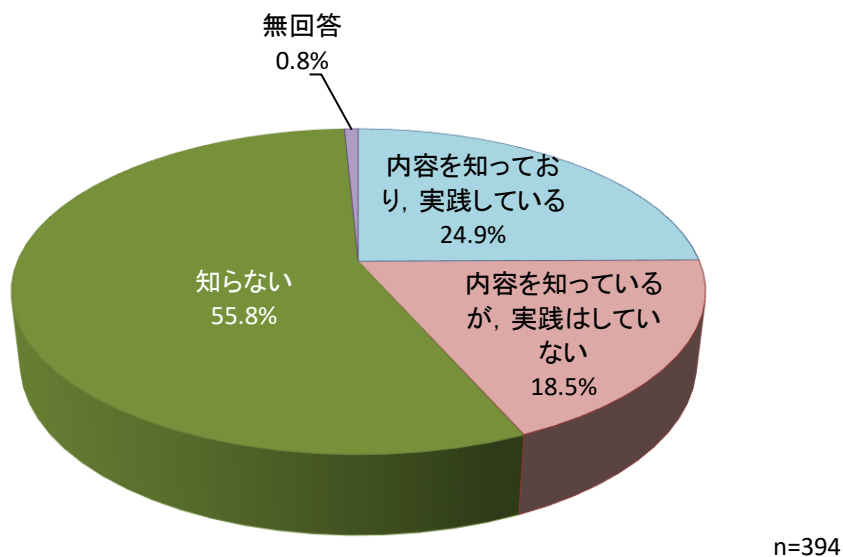
25. 「もったいない運動」について

(1) 「もったいない運動」の認知度

◇ 「知らない」が5割半ば

問93	宇都宮市で取り組んでいるもったいない運動を知っていますか。	(○は1つ)
		n=394
1	内容を知っており、実践している	24.9%
2	内容を知っているが、実践はしていない	18.5%
3	知らない	55.8%
	(無回答)	0.8%

<図IV-25-1>全体



「もったいない運動」の認知度については、「知らない」が55.8%で最も高く、次いで「内容を知っており、実践している」が24.9%、「内容を知っているが、実践はしていない」が18.5%であった。(図IV-25-1)

<参考>

性別・年齢別で見ると、「知らない」は<男性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/20歳代>が75.0%と続いている。「内容を知っており、実践している」は<女性/70歳以上>が44.6%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が42.9%と続いている。(図IV-25-2)

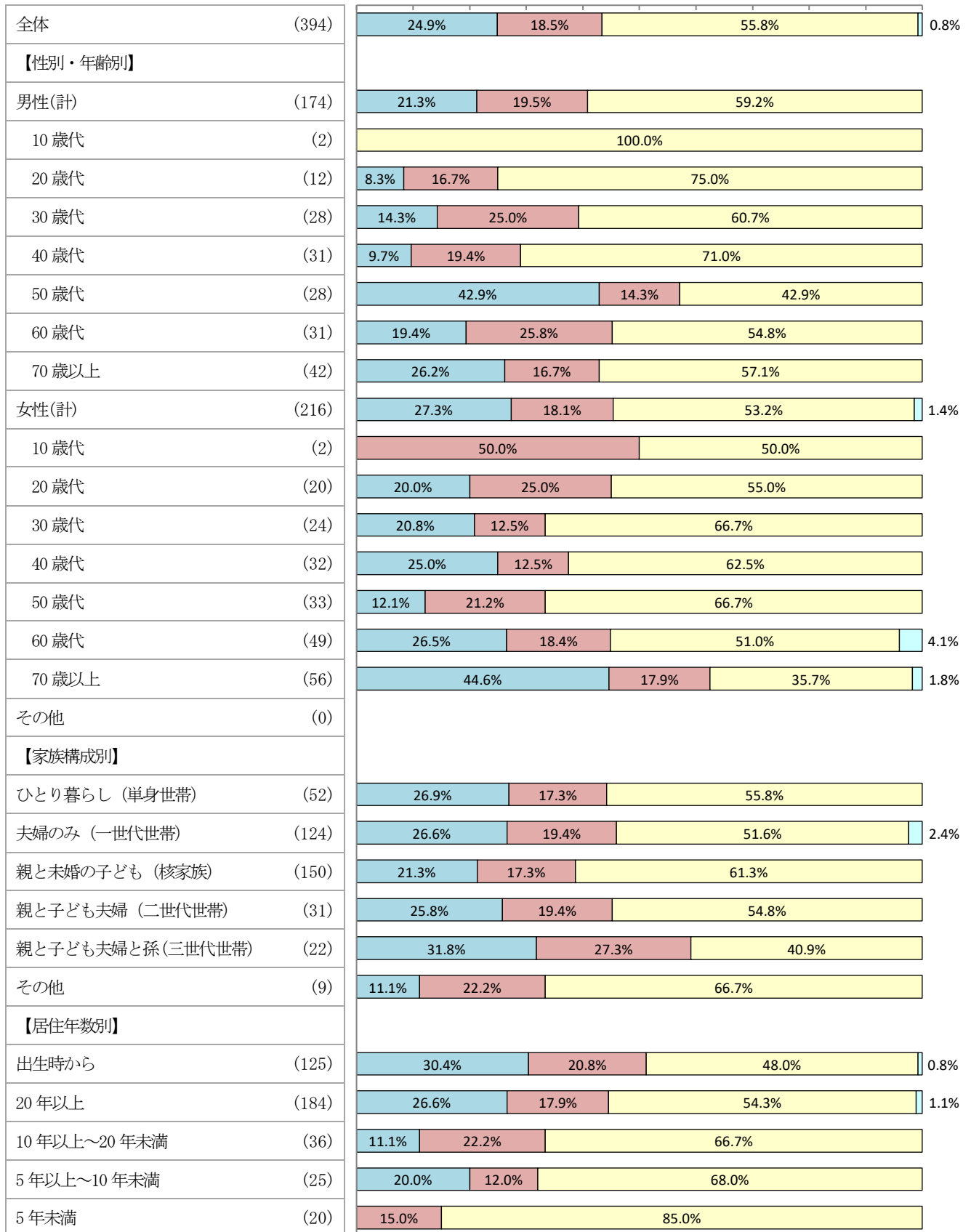
家族構成別で見ると、「知らない」は<その他>を除くと<親と未婚の子ども(核家族)>が61.3%で最も高く、次いで<ひとり暮らし(単身世帯)>が55.8%と続いている。「内容を知っており、実践している」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が31.8%で最も高く、次いで<ひとり暮らし(単身世帯)>が26.9%と続いている。(図IV-25-2)

居住年数別で見ると、「知らない」は<5年未満>が85.0%で最も高く、次いで<5年以上~10年未満>が68.0%と続いている。「内容を知っており、実践している」は<出生時から>が30.4%で最も高く、<20年以上>が26.6%と続いている。(図IV-25-2)

<図IV-25-2>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別

□内容を知っており、実践している □内容を知っているが、実践はしていない
 □知らない □無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

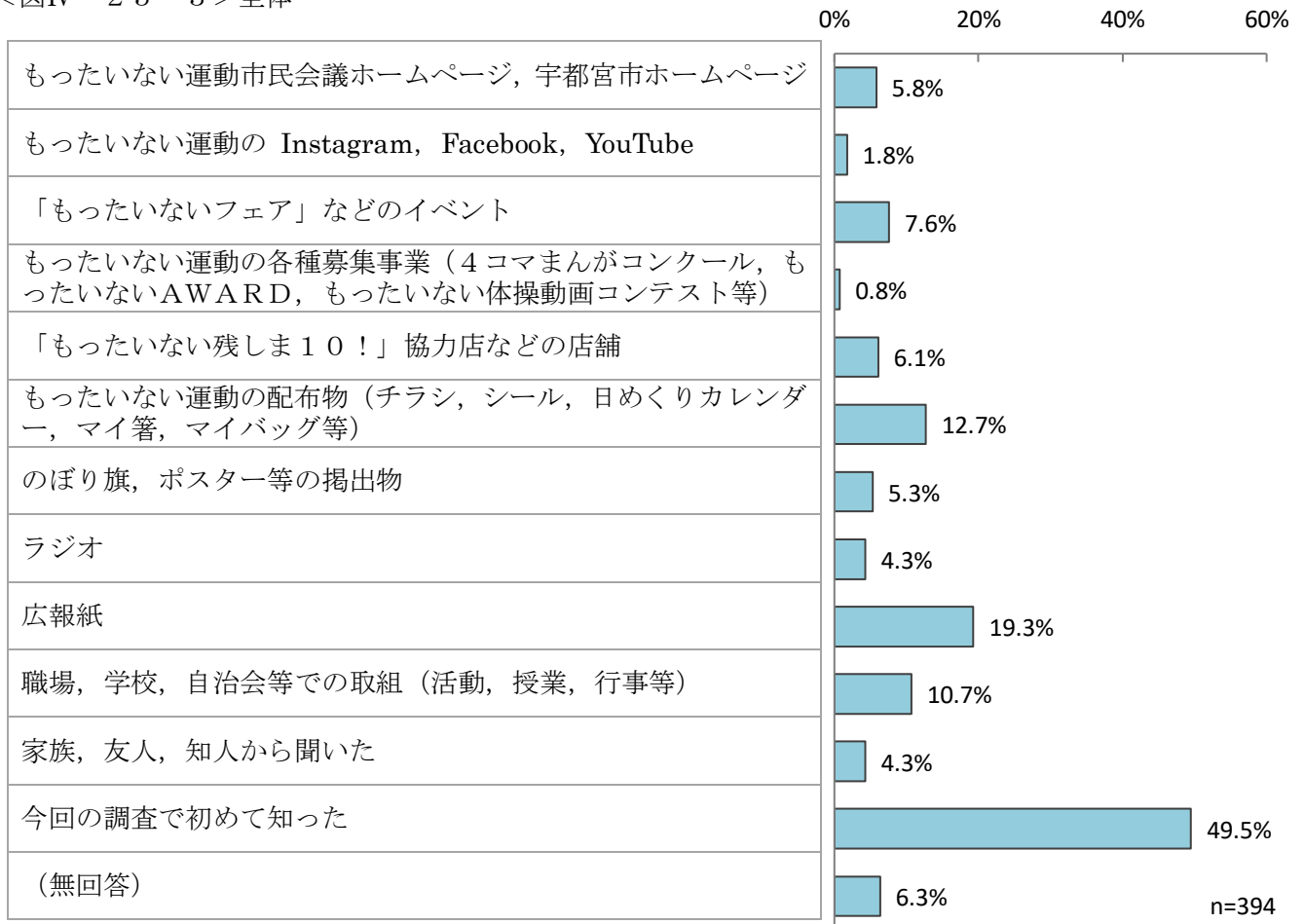


(2) 「もったいない運動」を知った経緯

◇ 「今回の調査で初めて知った」が約5割

問94	「もったいない運動」について、どのようにして知りましたか。	(〇はいくつでも)
		n=394
1	もったいない運動市民会議ホームページ, 宇都宮市ホームページ	5.8%
2	もったいない運動の Instagram, Facebook, YouTube	1.8%
3	「もったいないフェア」などのイベント	7.6%
4	もったいない運動の各種募集事業(4コマまんがコンクール, もったいないAWARD, もったいない体操動画コンテスト等)	0.8%
5	「もったいない残しま10!」協力店などの店舗	6.1%
6	もったいない運動の配布物(チラシ, シール, 日めくりカレンダー, マイ箸, マイバッグ等)	12.7%
7	のぼり旗, ポスター等の掲出物	5.3%
8	ラジオ	4.3%
9	広報紙	19.3%
10	職場, 学校, 自治会等での取組(活動, 授業, 行事等)	10.7%
11	家族, 友人, 知人から聞いた	4.3%
12	今回の調査で初めて知った	49.5%
	(無回答)	6.3%

<図IV-25-3>全体



「もったいない運動」を知った経緯については、「今回の調査で初めて知った」が49.5%で最も高く、「広報紙」が19.3%と続いている。（図IV-25-3）

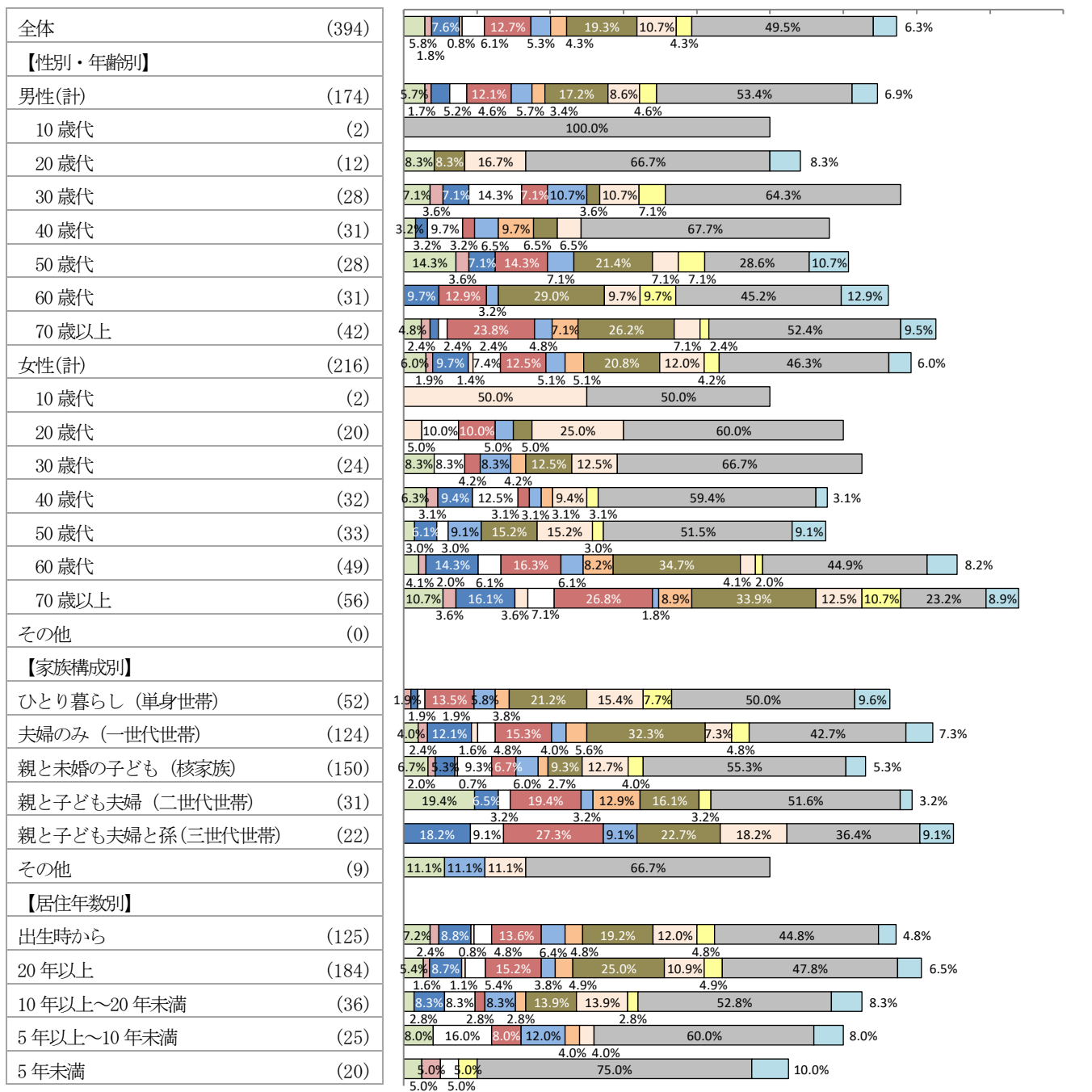
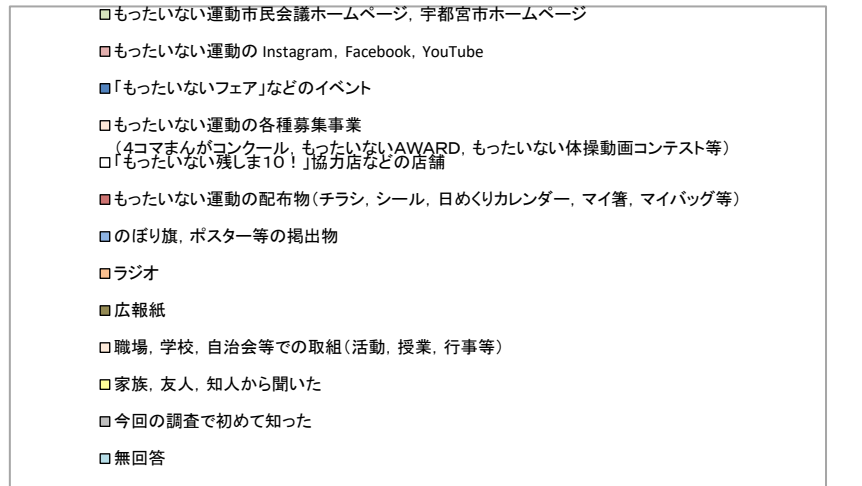
<参考>

性別・年齢別で見ると、「今回の調査で初めて知った」は<男性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が67.7%と続いている。「広報紙」は<女性/60歳代>が34.7%で最も高く、次いで<女性/70歳以上>が33.9%と続いている。（図IV-25-4）

家族構成別で見ると、「今回の調査で初めて知った」は<その他>を除くと<親と未婚の子ども（核家族）>が55.3%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が51.6%と続いている。「広報紙」は<夫婦のみ（一世帯世帯）>が32.3%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦と孫（三世帯世帯）>が22.7%と続いている。（図IV-25-4）

居住年数別で見ると、「今回の調査で初めて知った」は<5年未満>が75.0%で最も高く、次いで<5年以上～10年未満>が60.0%と続いている。「広報紙」は<20年以上>が25.0%で最も高く、<出生時から>が19.2%と続いている。（図IV-25-4）

<図IV-25-4>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別

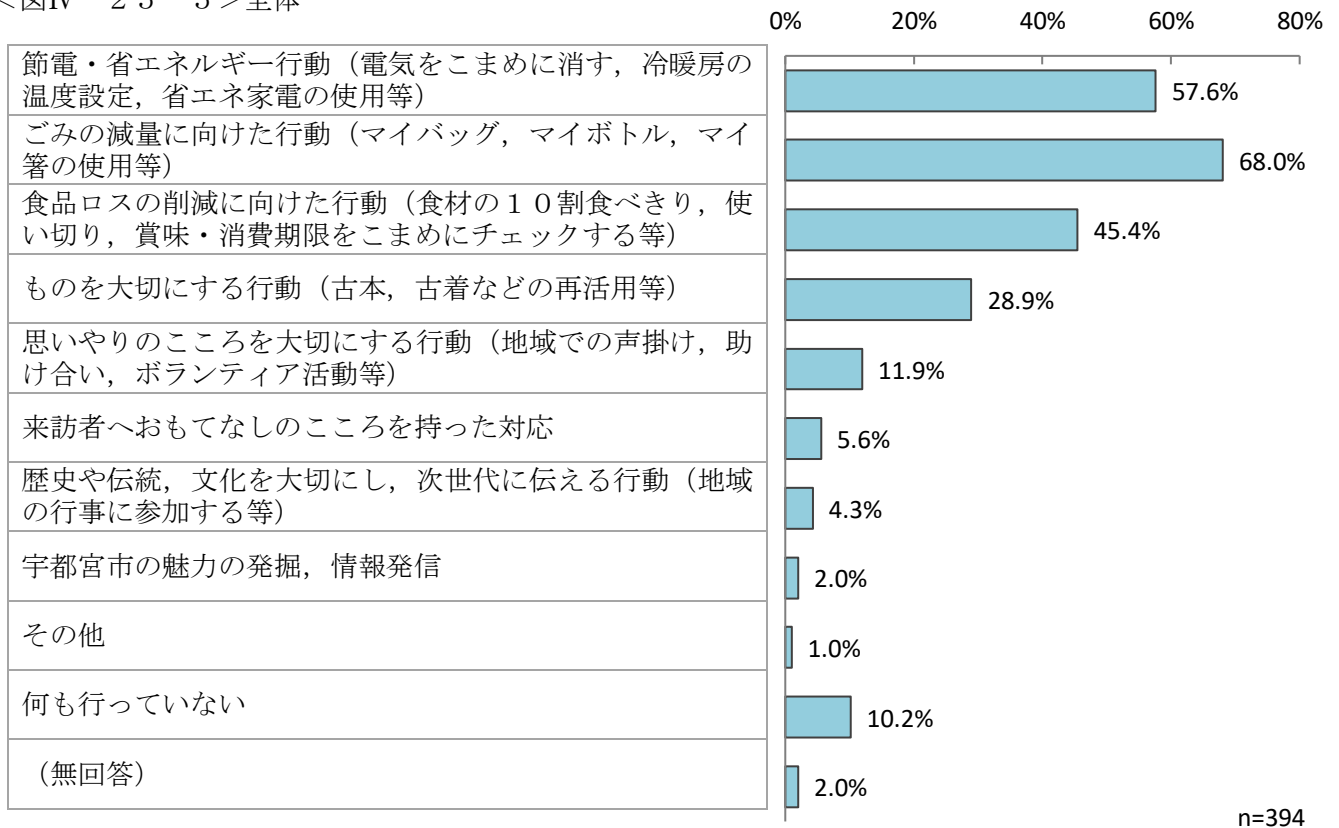


(3) 日常生活の中で取り組んでいる「もったいない運動」

◇ 「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ、マイボトル、マイ箸の使用等）」が7割弱

問95 あなたが日常生活の中で取り組んでいる「もったいない運動」はどのようなことですか。		(〇はいくつでも)	n=394
1	節電・省エネルギー行動 (電気をこまめに消す, 冷暖房の温度設定, 省エネ家電の使用等)		57.6%
2	ごみの減量に向けた行動 (マイバッグ, マイボトル, マイ箸の使用等)		68.0%
3	食品ロスの削減に向けた行動 (食材の10割食べきり, 使い切り, 賞味・消費期限をこまめにチェックする等)		45.4%
4	ものを大切にすゝる行動 (古本, 古着などの再活用等)		28.9%
5	思いやりのこゝろを大切にすゝる行動 (地域での声掛け, 助け合い, ボランティア活動等)		11.9%
6	来訪者へおもてなしのこゝろを持った対応		5.6%
7	歴史や伝統, 文化を大切にすゝし, 次世代に伝える行動 (地域の行事に参加する等)		4.3%
8	宇都宮市の魅力の発掘, 情報発信		2.0%
9	その他		1.0%
10	何も行っていない		10.2%
	(無回答)		2.0%

<図IV-25-5>全体



日常生活の中で取り組んでいる「もったいない運動」については、「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ，マイボトル，マイ箸の使用等）」が68.0%で最も高く、「節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す，冷暖房の温度設定，省エネ家電の使用等）」が57.6%，と続いている。（図IV-25-5）

<参考>

性別・年齢別で見ると、「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ，マイボトル，マイ箸の使用等）」は<女性/10歳代>が100.0%で最も高く，次いで<女性/60歳代>が87.8%と続いている。「節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す，冷暖房の温度設定，省エネ家電の使用等）」は<女性/70歳以上>が78.6%で最も高く，次いで<女性/50歳代>が72.7%と続いている。（図IV-25-6）

家族構成別で見ると、「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ，マイボトル，マイ箸の使用等）」は<親と子ども夫婦と孫（三世帯世帯）>が81.8%で最も高く，次いで<夫婦のみ（一世帯世帯）>が76.6%と続いている。「節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す，冷暖房の温度設定，省エネ家電の使用等）」は<夫婦のみ（一世帯世帯）>が66.1%で最も高く，次いで<その他>を除くと<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が54.8%と続いている。（図IV-25-6）

居住年数別で見ると、「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ，マイボトル，マイ箸の使用等）」は<5年以上～10年未満>が76.0%で最も高く，次いで<20年以上>が70.7%と続いている。「節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す，冷暖房の温度設定，省エネ家電の使用等）」は<20年以上>が63.6%で最も高く，次いで<出生時から>が57.6%と続いている。（図IV-25-6）

<図IV-25-6>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別

- 節電・省エネルギー行動(電気をこまめに消す, 冷暖房の温度設定, 省エネ家電の使用等)
- ごみの減量に向けた行動(マイバッグ, マイボトル, マイ箸の使用等)
- 食品ロスの削減に向けた行動(食材の10割食べきり, 使い切り, 賞味・消費期限をこまめにチェックする等)
- ものを大切に作る行動(古本, 古着などの再利用等)
- 思いやりのところを大切に作る行動(地域での声掛け, 助け合い, ボランティア活動等)
- 来訪者へおもてなしのこころを持った対応
- 歴史や伝統, 文化を大切にし, 次世代に伝える行動(地域の行事に参加する等)
- 宇都宮市の魅力の発掘, 情報発信
- その他
- 何も行ってない
- 無回答

